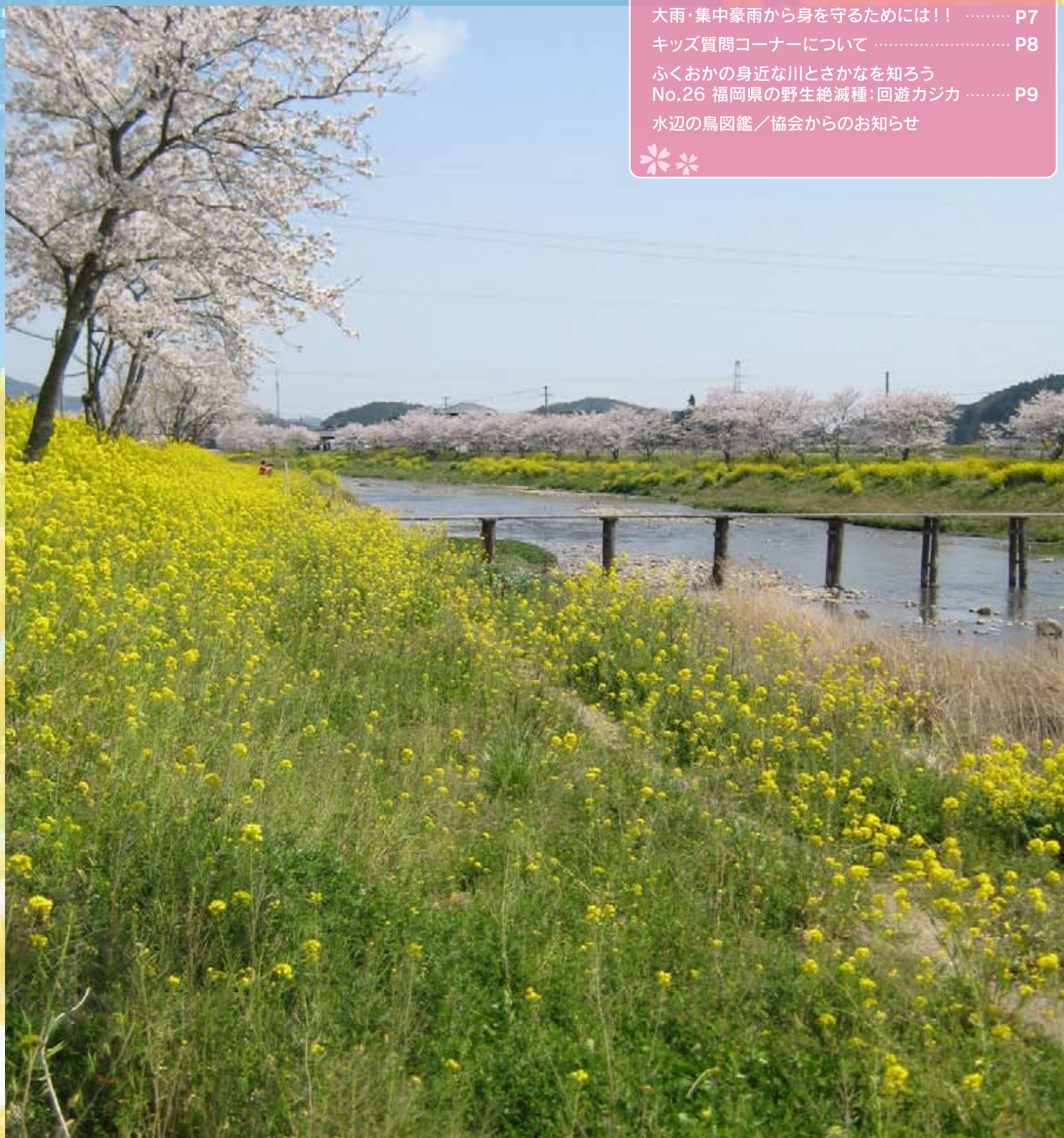


かわ

Vol.221 2014.4.1

Contents

- わがまちの川
◎No.21 みやこ町 今川・祓川 P1~P2
- 平成25年度 福岡県災害復旧
実務講習会(第2回)の報告 P3
- 平成25年度 災害復旧及び災害防止
功労者表彰について P4
- ふくおか水もり自慢 P5
- 川のネットワーク推進事業・
ふくおか川の大掃除 P6
- 大雨・集中豪雨から身を守るためには!! P7
- キッズ質問コーナーについて P8
- ふくおかの身近な川とさかなを知ろう
No.26 福岡県の野生絶滅種:回遊カジカ P9
- 水辺の鳥図鑑/協会からのお知らせ



わがまちの かわ

第21回

みやこまち

みやこ町

今川・祓川

(いまがわ)(はらいかわ)

みやこ町の紹介



みやこ町は、総面積は151.28平方キロメートルで、福岡県の北東部に位置し、東は行橋市と築上郡の築上町、西は田川郡の添田町・赤村・香春町、南は大分県、北は北九州市小倉南区に接しています。平成18年(2006)3月20日、京都郡の勝山町・犀川町・豊津町の3町が合併して、「みやこ町」が誕生しました。勝山地区の河川沿岸耕地は、地味肥沃であり、勝山米(しょうざんまい)の産地として有名です。また、町を取り囲む林野は、材木の成長に適しており、特にタケノコは、味、質ともに優れ、町の特産物となっています。集落は、地区を横断する国道201号と周辺部に点在しており、近年は農地の整備が進められています。

犀川地区は南高北低で急峻な山々に囲まれ、田川郡添田町にある英彦山を源にする今川、祓川が町内を貫流し周防灘へ注いでいます。また、東西に県道34号が平成筑豊鉄道と平行する形で横断しており、南北へは国道496号が祓川沿いに縦走しています。川という地名は中心部を流れる今川の旧称から来たと伝えられており、角川書店発行の福岡県地名大辞典によると「地名は今川の旧称に由来する。(正保国絵図、元禄国絵図)今川中流域の諸集落には、塞の神信仰に関係する小地域が多いが、集落の境が今川の流れて、その渡し場あたりに塞神の信仰を祀っていたことからサイ(塞)川と呼ばれはじめたのである」と記されています。

豊前国分寺・国分尼寺をはじめとした多くの文化遺産を現在に残す豊津地区では、その歴史を生かした活気あるまちづくりを展開しています。昔からこの地に住む人々は手を取り合い、まち全体で歴史を守り伝えてきました。

STAGE 1

勝山エリア

仲哀トンネルをぬけると、笑顔溢れる「人」との出会いがあります。勝山エリアは一年中遠来の客で賑わうエリア。本庁をはじめ、多くの複合施設があります。



◆仲哀公園の桜
～桜色に染まるつづら折の山道～

■ところ
みやこ町勝山松田
■散策ポイント
つづら折りの峠道に1,000本を超える桜が植えられ、3キロの道に両側から桜が咲き、まさに花のトンネルという様子です。峠の頂上からの眺めは絶景で、みやこ町はもちろん、行橋市や周防灘まで見渡せます。また、桜の木の下の菜の花も見ごたえがあります。桜の開花期間中はライトアップしています。

STAGE 3

豊津エリア

天平の昔、豊前国分寺・国府が置かれ、豊前国の政治文化の中心として栄えた歴史を持つ豊津。地域には未来に語り継ぐ壮大な浪漫が残されています。



◆豊前国分寺三重塔
■ところ
みやこ町国分(豊前国分寺跡公園)
■散策ポイント
高さ23.5m、どっしりとした威容を誇る三重塔は県文化財にも指定されている豊前国分寺のシンボルです。国分寺は奈良時代、聖武天皇の勅願により全国の国ごとに建てられた国立寺院。この地は当時、九州東北部の政治・文化の中心でした。豊前国分寺は戦国時代末期の兵火で焼失しましたが、江戸時代の元禄年間にほぼ復興。三重塔は明治28年に建立されたものです。
※年中無休。(9:00～16:00)
但し、国分寺案内所は毎週月曜日休館(祝日の時は翌日)
TEL0930-33-5654



かわのながれ

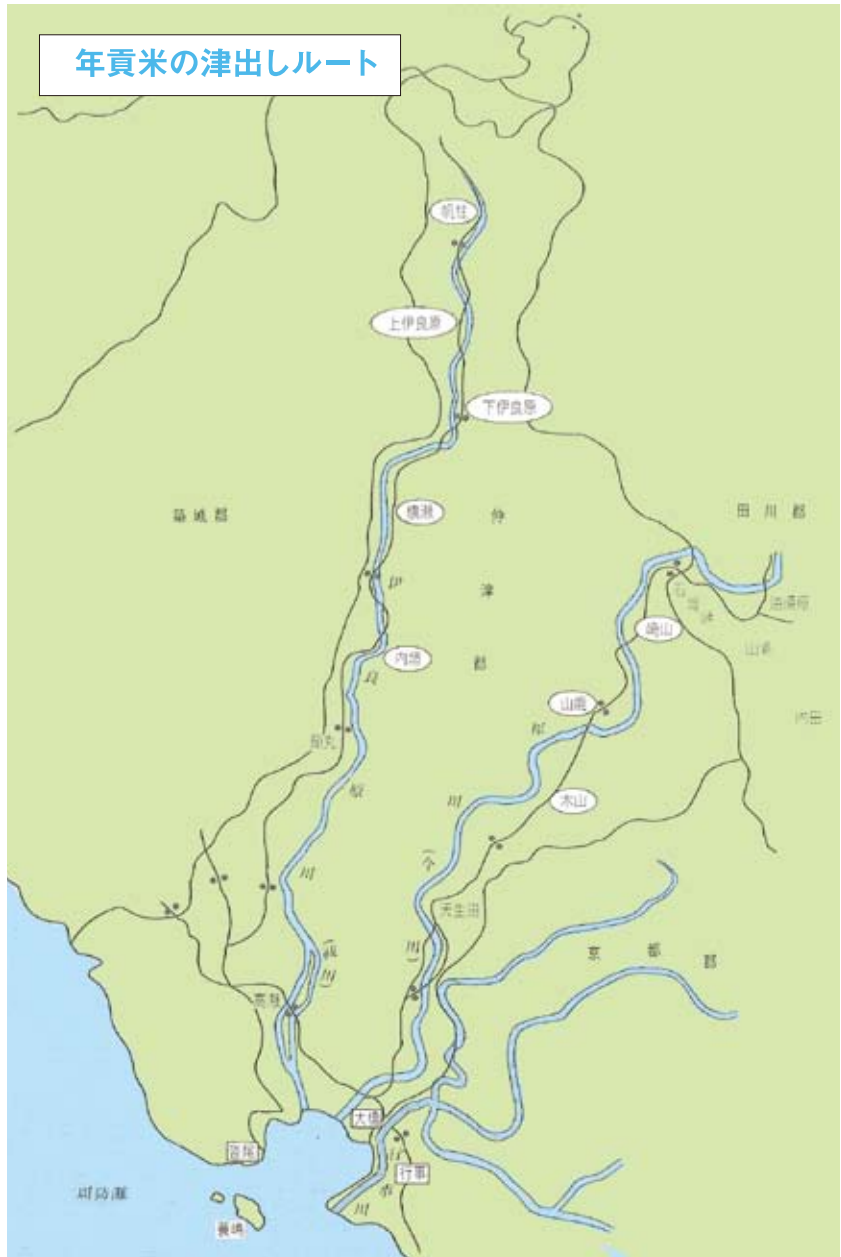
みやこ町には南北に二つの水系(今川・祓川)の二級河川が周防灘にそそいでいます。かわの流れは、肥沃な土地をもたらし時に荒れ狂って人々の生活を脅かします。悠久の昔から人々はかわの恩恵を受けてきました。今昔の流れを少し探してみました。今川の川船の通船については、天保六年(1835年)には長井手永で12艘の川船が旧犀川町域より大橋の今川河口まで下っている。〔「長井手永大庄屋日記」による〕

旧犀川町域の長井手永のいわゆる犀川米は、川船に積み込まれ今川河口まで運ばれそこから舟路川を通じて社倉蔵、郷蔵へいったん収納された。節丸手永や伊良原川(祓川)沿の仲津郡の年貢米も沓尾浦の郷蔵にいったん収納され、そこから船で小倉城下の表蔵へ回送された。

との記述があり、陸路の交通手段が脆弱な当時、川船は有益な運搬手段として使われた様子がわかります。今日においては生活用水と農業用水の活用に変わってきている。今川の上流域には油木ダムが設置され北九州市や行橋市、荻田町に供給されている。一方、祓川については昭和30年代からのダム計画は、紆余曲折を経てようやく周辺工事(集団移転地造成・付け替え道路)が進み、本体工事についても発注広告を行っているようです。



年貢米の津出しルート



みやこ町総合観光案内所

観光案内所は「歴史回廊の里」の情報センターとして武家屋敷風に整備されています。

町内の観光案内のほか、毎月、様々な作品が展示されています。みやこ町を訪れた際には、是非お立ち寄り下さい。



施設名 みやこ町総合観光案内所

ところ 〒824-0121

福岡県京都郡みやこ町豊津80

電話 0930-33-5771

交通 行橋駅より太陽交通バスで20分
(豊津支所行き 錦町下車 徒歩2分)

開館時間 9:30～16:30

定休日 毎週月曜日

【問合せ先】みやこ町 産業課 TEL:0930-32-2512

平成25年度 福岡県災害復旧実務講習会 (第2回)の報告

平成25年12月20日(金) 10:20~16:35 於:(財)福岡県建設技術情報センター



平成25年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県内の各市町村から73名・県土整備事務所から16名に参加して頂きました。

午前中は平成25年災の総括から始まり、交付申請手続きから精算・成功認定及び繰越手続き及び査定時の留意事項について説明がありました。午後からは、設計変更や、河川災害復旧・道路災害復旧における留意事項及び平成25年に改定となった事項について説明がありました。

また、災害査定の事例紹介として、久留米県土整備事務所と岡垣町から発表して頂きました。

久留米県土整備事務所からは、管内における施設の被害状況の説明があり、具体的な事例として、一級河川宝珠川で被災を受けた箇所の被災状況、復旧工事の概要、現地測量から査定を受けるまでの苦労した点などを図面と写真で分かり易く発表して頂きました。

岡垣町からは、道路災害の事例を発表して頂き、被災状況、応急対応時の苦労した点について分かり易く説明して頂きました。

最後に、国土交通省九州地方整備局より、災害査定における留意事項について講義して頂きました。講義の中では過去の災害査定事例を使いながら、参加者へ質問される形をとられ、参加者の方も緊張しながら答えられる場面もありましたが、とても有意義な講習会となりました。

今回の講習会を、今後の査定、被害状況収集時の参考にして頂き、迅速かつ適切な災害復旧が行われる一助となればと考えております。また、本年度も各種講習会を予定しており、初任者の方から経験者の方まで幅広く参加できるように考えておりますので、皆様の参加をよろしくお願いします。



平成25年度 災害復旧及び災害防止功労者 表彰について

さる平成25年12月5日(木)、「砂防会館別館」(東京都千代田区平河町)で行われました災害復旧促進全国大会におきまして、本県関係の下記の方々が平成25年度災害復旧及び災害防止功労者として表彰されました。

特に、団体の部で表彰されました福岡県土木組合連合会の各支部の皆様には、平成24年の九州北部豪雨にかかる災害防止及び災害復旧に、多大なご尽力をいただきましたことにあらためて御礼申し上げます。



記
(個人の部)
元福岡県八女県土整備事務所
所 長 平島 孝幸

元福岡県南筑後県土整備事務所
所 長 藤原 秀三



(団体の部) 福岡県土木連合会朝倉支部 支部長 平田 立身
福岡県土木連合会久留米支部 支部長 三原 次雄
福岡県土木連合会八女支部 支部長 安永 朋生
福岡県土木連合会柳川支部 支部長 鍋田 政則

川のネットワーク推進事業



福岡県では、様々な団体が河川愛護活動を始めとして、水環境に関わる活動を行っています。団体相互や行政と団体との情報交換、交流、連携を図り、活動の活性化や住民への啓発普及を進めるため、『川のネットワーク推進事業』を実施しています。潤いのある水環境をみんなで創り、守っていくためのネットワーク作りを目指し、「ふくおか川の大掃除」および「ふくおか水もり自慢！」のイベントを開催しています。

ふくおか川の大掃除

ふくおか川の大掃除とは、10月を「クリーンリバー推進期間」、10月の第4日曜日を「統一活動日」と定め、日ごろから各地域で行われている河川愛護活動を同時期に一齐に行うことで、より多くの方に河川において美化活動が行われていることを「知ってもらう」こと、重点実施河川(※)を設定し、周辺住民の方にも参加してもらうことで河川愛護活動を実際に「体験してもらう」こと、官民「一体となって行う」ことで課題解決に取り組み、良好な河川環境を形成することを本事業のねらいとしています。

※重点実施河川…ふくおか川の大掃除では、県下全体での清掃を呼びかける他、重点実施河川をひとつ選定し、河川愛護活動に参加したことのない方も含めて河川の美化活動を行います。

【第9回ふくおか川の大掃除】

本年度は、朝倉市を流れる一級河川筑後川水系黒川を重点実施河川として選定し、ふくおか川の大掃除を実施しました。地域住民の方以外にも、福岡市からの学生ボランティアの参加があり、少し汗ばむ晴天の中みんなで協力して河川の美化活動に取り組みました。重点実施河川以外においては、129の河川愛護団体と20の河川愛護企業、約1万名の方がふくおか川の大掃除に参加し、河川の一斉清掃に取り組みました。



ふくおか水もり自慢！



ふくおか水もり自慢！とは、福岡県内の「水」・「もり(森)」(山林、川、ため池、水田、水路、海、干潟など)に関わる活動をしている団体(学校、市民団体、NPO、国、地方自治体、企業)が一堂に会し、異分野交流や行政と市民とのパートナーシップを促進するとともに、他の団体の活動内容を学び、今後の活動の糧とするためのイベントです。

【第10回ふくおか水もり自慢！in朝倉】

平成25年11月30日(土)にサンライズ杷木において、「ふくおか水もり自慢！in朝倉」が開催されました。翌12月1日(日)はふくおか水もり自慢の参加者で、小石原焼伝統産業会館で開催された、筑後川源流の碑の除幕式に参加しました。



エキスカージョンの様子

基調講演



久留米大学 駄田井正教授に、「水とともにある歩み」と題して経済学と水資源について講演していただきました。

発表



大福小学校及び朝倉東小学校の4年生の皆さんが筑後川にまつわる劇や発表をしてくださいました。

特別報告



筑後川流域の現状や歴史について報告がありました。

活動報告



各団体は、ステージ上でそれぞれの活動を持ち時間3分で披露します。今回は、33団体が42の発表を行いました。

【発表団体(敬称略、順不同)】

豊の国海幸山幸ネット、龍王・山・里・川の会、YNHC(青少年博物学会)、NPO法人 アサメの会、九州大学流域システム工学研究室、筑後川まるごと博物館運営委員会、古賀河川図書館、秋月街道ネットワークの会、川づくりネット福岡、福岡県伊良原ダム建設事務所、直方川づくり交流会、めだかの学校、福岡県河川課、福岡県水資源対策課・ベッタ会、古賀ふるさと見分けの会、朝倉市に小水力発電を進める会、水の会/矢部川をつなぐ会、はかたわん海援隊、朝倉市立大福小学校、鶴匠・臼井信郎、オキチモズクを見守る会/朝倉生物研究会、筑後川・竹・筏・夢プロジェクト、朝倉市観光協会、筑後川クリーンアップ支援隊、朝倉市立朝倉東小学校、SWEEP、災害ボランティア九援隊、福岡県朝倉県土整備事務所、筑後川河川事務所、NPO法人大川未来塾、遠賀川水辺館おやしの会、おおむた環境ネットワーク、福岡大学工学部社会デザイン工学科、NPO法人21世紀の森づくり、上池田水利組合、NPO法人南畑ダム貯水する会、筑後川源流プロジェクト会議、筑後川中流域世界農業遺産登録推進協議会、柳川水の会

大雨・集中豪雨から身を守るためには!!

日ごろから・・・

**避難する場所や
道のりを確認!**

避難場所が分からない時は
お住まいの市町村まで

危ないと思ったら・・・

早めの避難を!

市町村からの情報に注意し、
速やかな避難を

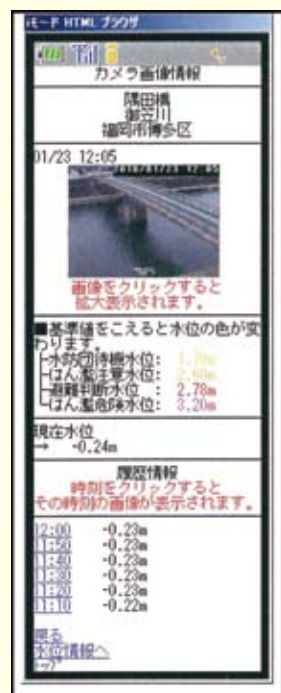
雨が強くなってきたら・・・

**テレビやラジオなどで
情報収集!**

県のホームページでは
雨や川の情報を提供しています。



携帯電話画面(拡大)



情報提供サイト(福岡県河川防災情報)

「雨量」、「川の水位・画像」の情報を、リアルタイムで発信しています!

【ホームページ】<http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/>

【携帯電話】<http://www.mobile-doboku.pref.fukuoka.lg.jp/>



キッズ質問コーナー



について。



小学生の皆さんに川をより知っていただくために、「キッズ質問コーナー」を設けています。

川に関する質問や疑問、知りたいこと等について募集しています。川に関することなら、どんなことでも何件でもOKです。皆さんからの応募をお待ちしています。

例えば

質問や疑問に「Q&A」の形式でお答えします。

Q 川はどうやってできたのですか?

A 地表に降った雨や雪がとけて低いところへ流れます。その流れる力が土をけずって地面が低くなったところが川となり、最後は海へと流れこみます。

もともと自然に流れていた川を、洪水の被害を少なくするためや、水を使いやすくするために人が工事をして、今の形になった川も多くあります。また、洪水を防ぐために人が新しくつくった川もあります。

Q 川の水は勝手に使ってもいいですか?

A 皆さんがバケツでくみ上げて使う量くらいは問題ありませんが、みんなが勝手に使ってしまうと、川の水が無くなってしまい、魚などの生き物が住めなくなってしまうのです。

このため、ルールを作り、これにより使うことにしています。このルールに基づいて農業に使ったり、水道水に使ったり、工場で使ったり、水力発電に使ったりしています。

応募先

福岡県河川協会

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

福岡県県土整備部河川課内

TEL 092-633-2826 FAX 092-643-3669

E-mail kyokuchu@fukuoka-pref-kasen.jp

ホームページ <http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>



ふくおかの身近な川と さかなを知ろう

No.26 福岡県の野生絶滅種：回遊カジカ

2013年に発行された最新版の魚類検索図鑑では、ウツセミカジカに当たる種が、かつて福岡県には生息していました。両側回遊型のカジカです。分類学的には、まだ混同とした面もあるため、ここではその生活史パターンにちなんで、回遊カジカと呼ぶことにします。この回遊カジカ、1960年代に室見川、今川から記録がありますが、現在、福岡県内でその姿を見ることができません。私が九州大学で大学院の修士課程までお世話になった恩師、故木村清朗先生は、「博多湾に流入する河川には、回遊カジカは普通におったよ。春先、ぴよんぴよん跳ねるように、最下堰をのぼった！」と常々、おっしゃっておいりました。実は、こういった状況は、福岡県だけの事象ではありません。この魚、福岡県以外にも大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県までかつては生息していたと思われるのですが、。

2005年ころでしょうか？私が九大に教員として赴任して間もないころ、大学院生から「回遊カジカが見たい！」と言われ、そのリクエストに応えるべく、「うーん、熊本県内の1河川を残し、絶滅したことになっとうけんね。でも、その川は他の大学が生態調査中なんで、場を荒らすとまずいんで、新産地を探そう！僕の予想では、

配がきつい佐賀県のこの辺が可能性ありだと思うんよ」といった流れで出かけて行って、本当にそこで回遊カジカを見つけて、

その周辺も調査して、、、というわけで、現在、九州では熊本県と佐賀県のごくごく一部の河川のみ、その姿を見ることができます。

の魚が姿を消した最大の理由は、堰による遡上阻害です。冬に川の瀬の中の石の裏に産卵し、1ヶ月くらいでふ化した後、仔魚たちは海に流されます。しばらく海で浮遊生活を営んだ後、河川に遡上し、川の瀬の中で暮らす生活史を見せます。つまり、海と川を行き来できることが、その生息の大きな条件です。それを阻害され、生息に最適な場所まで遡上できないことが絶滅を大きく加速させたと考えられます。もうひとつは、土砂供給の不足。堰だけでなくダムも含まれますが、河川の横断構造物は上流で発生した土砂を蓄えます。現在のこの魚の生息地を見る限り、下流でも人頭くらいの石で瀬が構成されていることが、その産卵と生息には重要なようで、下流までそういったサイズの石が運ばれなくなったことも、その減少に拍



車をかけたことでしょう。博多の春を知らせる風物のシロウオ。室見川への遡上量がめっきり少なくなり、この魚も危機的な状況にあります。恐らく、回遊型のカジカと同様で、シロウオの産卵に必要なこぶし大の石ころがこの川の河口域に供給されなくなっているのは原因なのでは、。

さて、福岡県の絶滅危惧種。川と海とを行き来する魚では、他に、サケ、イトヨ、エツ、ニホンウナギ、ヤマノカミが該当します。海で成長し、川に遡上して産卵する遡河回遊魚がサケ、イトヨ、エツ、その逆で、川で成長し、海で産卵する降河回遊魚がニホンウナギとヤマノカミです。その生活史様式は異なりますが、成長と産卵の場を移動する際、つまり回遊する際に、堰など

の河川横断構造物を上れずに、成長の場、産卵の場に到達できずに、分布や個体数を減らしている種です。生態があまり分かっていないアリアケシラウオとクルマサヨリは産卵を河川で行い、その後、川と海の境目の汽水で過ごすと考えられており、堰などの影響で産卵の場に到達できないことが、分布を減らす主要因と考えられている点で、他の種たちと共通します。第2の回遊カジカを生まないためにも、これらの魚が海と川との間を容易に行き来できるようにすることが、今後の大きな課題の一つと言えるでしょう。

河川横断構造物の回遊魚に対する負の影響に関して、河川行政の努力によって少しずつではありますが改善する方向にあります。みなさ



ん、時々、目にされるかも知れませんが、多くの河川の堰には魚道が設置されています。そして、最新の技術では極めて自然に近い形で魚の移動経路を確保する「多自然魚道」なるものも導入され始めました。従来型の魚道と遠賀川に設置された多自然魚道の写真をお見せしますが、見るからに、最先端技術を駆使した多自然魚道の方が多くの魚の訴状に寄与できるが判断できます。今後、こういった技術が県内全域に普及すれば、きっと、次に私が福岡県版RDBを編集する際には、これらの回遊魚類を絶滅危惧種のランクから圏外にすることができるようかもしれません。あと、堰に蓄えられる土砂の問題ですが、こちらもダムで蓄えられた土砂を下流域に還元する技術開発の検討が近年はじまりました。ぜひ、技術が開発され、川の魚にとって住み心地のいい環境が再生され、かつて身近だった魚が真に身近になることを期待したいものです。



鬼倉 徳雄

おにくら のりお

- 九州大学大学院農学研究院・助教
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類会自然保護委員会・希少魚類部会委員

主な著書／

- 有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性(佐藤正典編)
- 干潟の海に生きる魚たち 有明海の豊かさと危機(日本魚類学会自然保護委員会編)

水辺の鳥図鑑

筑紫鴨
ツクシカモ

カモ目カモ科
(学名: Tadoma Tadoma)

- 撮影者: 犬鳴川流域文化研究会: 中村氏
- 撮影地: 犬鳴川流域



全長58-67cm。翼開長110-133cm。マガモよりも大きく、カモ類とガン類の間くらい大きさがある。くちばしが赤く、頭から首にかけて光沢のある緑黒色で、肩羽と腹部中央にもこの緑黒色が入る。胸に太くて白い首輪条の模様、その後ろに茶色の同様の模様がかかる。翼と尾

羽先端は黒く、脚は鈍い赤橙色をしている。カモ類としては珍しく雌雄同色だが、オスの額にはガチョウと同様にくちばしと一続きになったこぶがあり、特に繁殖期にはこぶが大きくなる。若鳥は光沢のない灰黒色で、他の体色も全般に鈍い。

協会からのお知らせ

◎河川愛護絵画コンクール

福岡県は、7月を河川愛護月間と定め、河川愛護事業を実施します。この一環として、河川愛護意識の高揚を図るため、小学校児童による河川愛護絵画コンクールを実施します。優秀作品(特選及び一等)は福岡県河川協会総会で表彰を行っています。なお、応募された小学校には、参加賞を寄贈しております。なお、コンクールの詳細については、後日、県より各小学校へ案内があります。

■平成26年度筑後川・矢部川総合水防演習

◎日時: 5月18日(日)
◎場所: 筑後川(久留米市内)
主催: 国土交通省九州地方整備局
福岡県

■平成26年度福岡県災害復旧実務講習会

◎日時: 4月25日(金)
◎場所: 福岡県建設技術情報センター
主催: 福岡県県土整備部河川課・
福岡県河川協会

■平成26年度災害復旧実務講習会

◎日時: 5月14日(水)~15日(木)
◎場所: 東京都・砂防会館別館
主催: (社)全国防災協会

表紙の説明

今川

今川は、英彦山付近を源流とし田川郡添田町、赤村、京都郡みやこ町、行橋市を流れ河口付近で江尻川と合流して周防灘に注いでいる、流路延長31.63kmの二級河川である。



編集後記

新年度が始まりました。この一年間皆様のご協力により、無事機関誌「かわ」の編集及び発行ができました。有り難うございました。26年度は新たな編集委員により、これまで以上に充実した機関誌「かわ」にしていきたいと思っています。

◆STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL: 092-633-2826(直通)
FAX: 092-643-3669
企画 セントラル印刷株式会社